

令和7年度 美咲町立旭学園 学校経営計画書

○学校教育目標 「夢をもち 未来をひらく 旭っ子」の育成

○校 訓 練磨 創造 敬愛【努力しよう 考えよう 仲よくしよう】

○達成したいミッション

地域と共に「グローバル社会・ソサイエティ 5.0 時代をたくましく生きる力」と「ふるさと旭の発展を主体的に考え行動する力」を育む

○内外の環境分析

内的環境	○児童生徒は素直で、学習や生活の課題に前向きに粘り強く取り組んでいる ○教職員は、学校教育目標の具現化に向けた特色ある教育活動（一貫教育、郷土学習、英語教育等）に臨んでいる ○4-3-2の学年区分により、リーダー育成や教科担任制など、発達段階に応じた教育が実践できる ○少人数であるため、学習や生活において多様な見方や価値観、考え方に会える機会が少ない
外的環境	○地域は豊かな自然に恵まれ、農業や林業等、特長を活かした産業が多く存在している ○地域の人材や企業・団体は、学校教育への関心・理解が高く、協力的・参画的である ○学校協働ボランティアや土曜日教育支援事業等の地域学校協働活動が活発である ○保育園が隣接し、就学前段階からの連続性・系統性のある一貫教育に取り組みやすい ○住居が地域内に点在しているため、児童生徒が学校外で交流する機会が少ない

○ミッションの追究を通して実現しようとする本校のビジョン（めざす具体像）

●目指す学校像 【練磨】児童生徒一人一人の主体性・自律性・自己表現力(伝わる言葉と態度で考えを伝える)を育成する学校 【創造】児童生徒が地域住民・保護者と共に地域の発展を創造し、活性化・活力向上に貢献する学校 【敬愛】児童生徒が対立を乗り越え、高め合い敬うことで得られる承認感を提供できる学校 ●目指す児童生徒像 【練磨】目標の実現に向かって課題に挑み、探究的な学び方を身に付け、<u>自律し</u>自己表現ができる生徒 【創造】ふるさと旭に愛着を持つとともに地域の発展を創造し、活性化・活力向上に向けて貢献する生徒 【敬愛】互いを尊重したリーダー・フォロアーシップを発揮し、合意形成を重ねながら自治的に高め合う生徒		
中期	【練磨】実現したい目標を見付け探究的な学び方で解決する児童生徒 【創造】旭地域のよさと課題を知り、地域の発展・活性化を提案・発信する児童生徒 【敬愛】友達の考えや立場を理解し、折り合いを付け協力する児童生徒	前期
		【練磨】自分の目標を持ち、叶える方法を考え、進んで取り組む児童 【創造】地域の方々との交流を通して地域のよさと魅力を理解し、他者に伝える児童 【敬愛】友達のよさや色々な考え方がることを理解し、助け合う児童
●目指す教職員像 【練磨】児童生徒一人一人の実現したい夢の具現化に向けて、自らの指導技術を磨く教職員 【創造】ミッションの実現に向けた具体的な教育活動を創造・実践し、一貫教育を推進する教職員 【敬愛】地域住民の思いや願いを受け止め、未来を担う人材を育成するために協働する教職員		

○重点的な取組 ※下線部は最重点とする取組

1 「確かな学力」を育む
□思考力・判断力・表現力等を育成するため、「学びを深める4つの工夫（重点：考えを広げ深める対話・学びの深まりを実感する振り返り）」を取り入れた「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりを進める □質の高い専門的・系統的な学びを提供するため、前期・中期の乗り入れ授業を進める □ICTの活用、家庭との連携により、学習内容の習得を図る宿題及び興味や関心のあるテーマで学習する自主学習の習慣化を目指す家庭学習を進める □プログラミング思考・情報活用能力を育成するため、ICT機器を効果的に活用した授業を進める
2 「豊かな心」を育む
□課題解決力を高めるため、考え・立場を明確にして議論する自治的な児童生徒会活動や学級づくりを進める □親切・思いやり、努力・強い意志等の道德性を育成するため、多様な価値観や考え方に触れ、多面的・多角的に考え議論する道德教育（道德科・学級活動）を進める □自己有用感を高めるため、あいさつ運動や互いを承認する活動、ピアサポート(異学年交流)活動を進める
3 「健やかな体」の育成
□体力の向上を図るため、保健体育(体育)科の授業に加え、朝遊び(前期)、運動部活動を進める □望ましい生活習慣の定着に向けて、通信機器やSNS等の適切な使い方を考える情報モラル教育、家庭との連携によりメディアの利用（時間やルール等）を考え実践するメディアコントロールを進める
4 【一貫教育】連続性・系統性のある学びを提供する
□各種教育・各教科領域において、一貫カリキュラム（全体計画・年間指導計画）を実践する □自己表現力（伝わる言葉と態度で考えを伝える）及び課題解決力を高めるため、保学園一貫表を活用して思考力・判断力・表現力等の育成及び課題解決の基盤となる言語スキルの習得を進める
5 【キャリア教育】地域との連携・協働により郷土学習・英語教育を進める
□地域住民の思い・願いから地域のよさと課題を知り、<u>活性化・活力向上に向けて発信・貢献するとともに、探究的な学び方を習得する郷土学習を進める</u> □異なる文化を持つ他者とつながるコミュニケーションスキルの習得と自ら表現する意欲を育む英語教育を進める □コミュニティスクールと地域学校協働活動との一体的推進により、地域とともにある学校づくりを進める